

同時資料配布先：

経済産業省記者会
学研都市記者クラブ

2016年12月1日

次世代型膜モジュール技術研究組合

第6回 革新的CO₂膜分離技術シンポジウム
～ 地球温暖化防止に貢献する膜分離技術の最新動向 ～
開催について

当組合では、広くご関係の皆様にご紹介するため、2017年1月23日に「第6回革新的CO₂膜分離技術シンポジウム」を開催致します。

本年のシンポジウムでは、基調講演として、(公財)地球環境産業技術研究機構 茅陽一理事長と群馬大学 宝田恭之教授を迎え、地球温暖化対策の長期的な目標である「CO₂ゼロエミッションとCCS」、早期の技術確立が望まれる「次世代火力発電とCO₂削減」についてご講演頂きます。招待講演として、米国の電力会社である Southern Company Services, Inc.から「米国 National carbon capture center (NCCC)における分離膜の実証試験」、米国 Cameron, a Schlumberger company から「天然ガスからのCO₂分離のための膜分離技術」についてご紹介頂きます。また、当組合が開発している二酸化炭素分離膜技術の最近の進捗に加え、海外のCO₂分離回収技術の最新動向についてもご報告いたします。

CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) にご関心をお持ちの皆様には、最新動向をお聞きいただける絶好の機会ですので、是非ご参加下さいますようご案内申し上げます。

※次世代型膜モジュール技術研究組合

(組合員：住友化学株式会社、公益財団法人地球環境産業技術研究機構)

1. 開催趣旨

COP21 (パリ協定) では、世界共通の長期目標として、世界全体の平均気温上昇を産業革命前に比べ2°C未満に十分に抑えることが設定され、また、1.5°Cに抑える努力を追求することに言及されました。地球温暖化対策の重要な選択肢の一つとして、二酸化炭素回収・貯留 (CCS : Carbon dioxide Capture and Storage) が挙げられます。そのなかで、次世代型膜モジュール技術研究組合は、効率的な石炭ガス化発電として期待されているIGCC等で発生する圧力を有するガスから低コストで分離回収を行う革新的な二酸化炭素分離膜の開発 (二酸化炭素分離膜モジュール実用化研究開発事業) を経済産業省からの委託事業として進めています。

本シンポジウムでは、当技術研究組合が開発している二酸化炭素分離膜技術や国内外での二酸化炭素分離回収技術の研究開発動向について報告し、最新の情報について知っていただくことを目的としています。

2. 開催概要

主 催： 次世代型膜モジュール技術研究組合

共 催： 経済産業省

後 援： 日本 CCS 調査株式会社、Global CCS Institute、
公益社団法人新化学技術推進協会

協 賛： 日本膜学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人高分子学会、
公益社団法人日本化学会

日 時： 2017 年 1 月 23 日（月）13 時～17 時（受付開始 12 時 30 分）

会 場： 東京大学 伊藤謝恩ホール（本郷キャンパス 赤門東隣り）

参加費： 無料

プログラム（敬称略）：

- ・ 基調講演「CO₂ゼロエミッションと CCS」
（公財）地球環境産業技術研究機構 理事長 茅 陽一
- ・ 基調講演「次世代火力発電と CO₂削減」
群馬大学大学院理工学府 環境創生部門 教授 宝田 恭之
- ・ 招待講演「米国 National carbon capture center (NCCC)における分離膜の
実証試験」
Southern Company Services, Inc.
Director, Technology Development Frank Morton
- ・ 招待講演「天然ガスからの CO₂分離のための膜分離技術」
Cameron, a Schlumberger company
Functional Director of Membrane R&D 森里 敦
- ・ 講演「次世代型膜モジュール技術の進捗について」
次世代型膜モジュール技術研究組合 専務理事 中尾 真一
- ・ 講演「海外の CO₂分離回収技術の最新動向」
次世代型膜モジュール技術研究組合 技術部長 甲斐 照彦
（詳細は別紙をご参照ください。）

3. 参加登録

参加を希望される方は、所属、住所、氏名、電話番号を記載のうえ、E-mailにて mgmsympo@gmail.com宛てにお申し込み下さい。（定員 200 名 先着順に参加登録）

4. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方は、事前にお申込み下さいますようお願い致します
(やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい)。

お問合せ先

○シンポジウムの内容・参加登録に関するお問合せ先：

次世代型膜モジュール技術研究組合 三上、菰野、大西

TEL : 0774-72-0230 E-mail : mgmsympo@gmail.com

○本プレス発表に関するお問い合わせ先：

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 中村、辰巳

TEL : 0774-75-2301 E-mail : pub_rite@rite.or.jp

第6回 革新的CO₂膜分離技術シンポジウム

～ 地球温暖化防止に貢献する膜分離技術の最新動向 ～

平成29年1月23日（月） 開催

時間 : 13時～17時（受付開始12時30分）
会場 : 東京大学伊藤謝恩ホール
参加費 : 無料
主催 : 次世代型膜モジュール技術研究組合
共催 : 経済産業省
後援 : 日本CCS調査(株)、Global CCS Institute、(公社)新化学技術推進協会
協賛 : 日本膜学会、(公社)化学工学会、(公社)高分子学会、(公社)日本化学会

開催趣旨

COP21（パリ協定）では、世界共通の長期目標として、世界全体の平均気温上昇を産業革命前に比べ2℃未満に十分に抑えることが設定され、また、1.5℃に抑える努力を追求することに言及されました。地球温暖化対策の重要な選択肢の一つとして、二酸化炭素回収・貯留（CCS：Carbon dioxide Capture and Storage）が挙げられます。そのなかで、次世代型膜モジュール技術研究組合は、効率的な石炭ガス化発電として期待されているIGCC等で発生する圧力を有するガスから低コストで分離回収を行う革新的な二酸化炭素分離膜の開発（二酸化炭素分離膜モジュール実用化研究開発事業）を経済産業省からの委託事業として進めています。

本シンポジウムでは、当技術研究組合が開発している二酸化炭素分離膜技術や国内外での二酸化炭素分離回収技術の研究開発動向について報告し、最新の情報について知っていただくことを目的としています。

プログラム

13:00-13:05	開会		
13:05-13:10	主催者挨拶	次世代型膜モジュール技術研究組合	理事長 栗本 勲
13:10-13:15	共催者挨拶	経済産業省 産業技術環境局 地球環境連携室	
13:15-13:50	講演1 基調講演	「CO ₂ ゼロエミッションとCCS」 (公財)地球環境産業技術研究機構	理事長 茅 陽一
13:50-14:25	講演2 基調講演	「次世代火力発電とCO ₂ 削減」 群馬大学大学院理工学府 環境創生部門	教授 宝田 恭之
14:25-15:00	講演3 招待講演	「米国National carbon capture center (NCCC)における分離膜の実証試験」 Southern Company Services, Inc. Director, Technology Development	Frank Morton
15:00-15:30	休憩		
15:30-16:05	講演4 招待講演	「天然ガスからのCO ₂ 分離のための膜分離技術」 Cameron, a Schlumberger company Functional Director of Membrane R&D	森里 敦
16:05-16:35	講演5 「次世代型膜モジュール技術の進捗について」	次世代型膜モジュール技術研究組合	専務理事 中尾 真一
16:35-16:50	講演6 「海外のCO ₂ 分離回収技術の最新動向」	次世代型膜モジュール技術研究組合	技術部長 甲斐 照彦 専務理事 中尾 真一
16:50-16:55	閉会挨拶	次世代型膜モジュール技術研究組合	
16:55-17:00	閉会		

*上記プログラム内容については、変更されることがあります。

○ 会場のご案内

東京大学伊藤謝恩ホール (〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1、TEL 03-5841-0779)

【アクセス】

電車・バスでのアクセス

最寄り駅		所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)		徒歩8分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)		徒歩6分
湯島駅または根津駅(地下鉄千代田線)		徒歩15分
御茶ノ水駅 (JR中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶51駒込駅南口又は東43荒川土手乗車所前行 ↓ 東大(赤門前バス停)下車
	学バス利用	学07東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR山手線等)	都バス利用	都02大塚駅前又は上69小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
上野駅 (JR山手線等)	学バス利用	学01東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

最寄り駅およびバス停から伊藤国際学術研究センターまでの地図



- お問い合わせ先
次世代型膜モジュール技術研究組合
TEL:0774-72-0230
E-mail : mgmsympo@gmail.com

参加お申し込みはE-mailにてお願いいたします。
所属、住所、氏名、電話番号をご連絡ください。
定員は200名で、先着順にお受けいたします。